



長大成人，進到完全

(以弗所書エペソ4:13)

週報

2024年6月16日

(第3088期)



宗教法人：東京中華基督教會

〒166-0003東京都杉並区高円寺南5-13-4

電話：(03)3312-1837 (教會)

<http://church.ne.jp/chinese>

「你們不可停止聚會、好像那些停止慣了的人、倒要彼此勸勉、既知道那日子臨近、就更當如此。」 (希伯來書10章25節)

主日崇拜

讚美	第10首「神のまこととうとし / 信實廣大」	會眾
禱告		司會
朗讀	主禱文	會眾
證道	信心的父親 / 信仰の父	講員: 劉 崎瑋 傳道
	創世紀 22:1-14	翻譯: 易 人
讚美	第111首「いかにおそるべき / 天父必看顧你」	會眾
奉獻	第127首「のぞみも消えゆくまでに / 數算主恩」	會眾
禱告		劉 崎瑋 傳道
阿們	第1首「あめつちこぞりて / 讚美真神」	會眾
報告介紹		崎尾 有佳子, 山中 智梅

【教會週間定期聚會】

主日崇拜：每主日 10:30 - 12:00

(Zoom ID: 995 035 0116)

聖餐式：每月第2主日

晨禱會：每主日 9:30 - 10:15

晚禱會：每週二 20:00 - 20:30

午後學習會：每主日 12:30 - 14:00

日英文查經：每週三 19:00 - 20:30

(表參道・青山生涯學習館&LINE)

中文查經：每週五 19:50 - 21:00

(Zoom ID: 663 697 9476)

福音團契：每週六 17:30 - 19:30

【教會本年度的目標】

常常聚會、常常讀經

いつも集會に参加し、たえず聖書を読む

【本月背誦聖經章節】

耶和華有憐憫，有恩典，不輕易發怒，有豐盛的慈愛。天離地何等的高，祂的慈愛向敬畏祂的人也是何等的大！東離西有多遠，他叫我們的過犯離我們也有多遠！（詩篇103:8, 11-12）

主は、あわれみ深く、情け深い。怒るのにおそく、恵み豊かである。天が地上はるかに高いように、御恵みは、主を恐れる者の上に大きい。東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。（詩篇103:8, 11-12）

【本週閱讀聖經章節】

6/17 : 馬太 21:33-46 & 王下 25:1-17

6/18 : 馬太 22:1-14 & 王下 25:18-26

6/19 : 馬太 22:15-22 & 王下 25:27-30

6/20 : 馬太 22:23-33 & 以斯帖 1:1-9

6/21 : 馬太 22:34-46 & 以斯帖 1:10-22

6/22 : 馬太 23:1-12 & 以斯帖 2:1-9

6/23 : 馬太 23:13-24 & 以斯帖 2:10-18

【證道提要】

信心的父親

創世紀 22:1-14

背景：神的要求(v. 1-2)

一、信心是聽從神的話語(v. 3-5)

- v. 3 亞伯拉罕清早起來，備上驢，帶著兩個僕人和他兒子以撒，也劈好了燔祭的柴，就起身往神所指示他的地方去了。
- v. 4 到了第三日，亞伯拉罕舉目遠遠地看見那地方。
- v. 5 亞伯拉罕對他的僕人說：「你們和驢在此等候，我與童子往那裡去拜一拜，就回到你們這裡來。」

二、信心是相信神必預備(v. 6-10)

- v. 6 亞伯拉罕把燔祭的柴放在他兒子以撒身上，自己手裡拿著火與刀；於是二人同行。
- v. 7 以撒對他父親亞伯拉罕說：「父親哪！」亞伯拉罕說：「我兒，我在這裡。」以撒說：「請看，火與柴都有了，但燔祭的羊羔在哪裡呢？」
- v. 8 亞伯拉罕說：「我兒，神必自己預備作燔祭的羊羔。」於是二人同行。
- v. 9 他們到了神所指示的地方，亞伯拉罕在那裡築壇，把柴擺好，捆綁他的兒子以撒，放在壇的柴上。
- v. 10 亞伯拉罕就伸手拿刀，要殺他的兒子。

結果：神果然親自預備(v. 11-14)

信仰の父

創世紀 22:1-14

背景：神の要求(v. 1-2)

一、信仰は御言葉に従う(v. 3-5)

- v. 3 翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、ふたりの若い者と息子イサクとをいっしょに連れて行った。彼は全焼のいけにえのためのたきぎを割った。こうして彼は、神がお告げになった場所へ出かけて行った。
- v. 4 三日目に、アブラハムが目を上げると、その場所がはるかかなたに見えた。
- v. 5 それでアブラハムは若い者たちに、「あなたがたは、ろばといっしょに、ここに残っていなさい。私と子どもはあそこに行き、礼拝をしてあなたがたのところに帰って来る」と言った。

二、信仰は神の備えを信じる(v. 6-10)

- v. 6 アブラハムは全焼のいけにえのためのたきぎを取り、それをその子イサクに負わせ、火と刀とを自分の手に取り、ふたりはいっしょに進んで行った。
- v. 7 イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん。」すると彼は、「何だ。イサク」と答えた。イサクは尋ねた。「火とたきぎはありますが、全焼のいけにえのための羊は、どこにあるのですか。」
- v. 8 アブラハムは答えた。「イサク。神ご自身が全焼のいけにえの羊を備えてくださるのだ。」こうしてふたりはいっしょに歩き続けた。
- v. 9 ふたりは神がアブラハムに告げられた場所に着き、アブラハムはその所に祭壇を築いた。そうしてたきぎを並べ、自分の子イサクを縛り、祭壇の上のたきぎの上に置いた。
- v. 10 アブラハムは手を伸ばし、刀を取って自分の子をほふろうとした。

結果：神は実に備えてくださった(v. 11-14)